

# 金沢迄の北陸新幹線 えちごトキめき鉄道 ともに開業しましたが・・・

14日、長野～金沢の新幹線と、えちごトキめき鉄道など第三セクターによる並行在来線の営業が開始されました。

13日から15日にかけては、上越妙高駅などを会場に、開業を祝うイベントが行われ、多くの市民で賑わいました。

また、このイベントに電車を利用して参加する市民も多く、この日ばかりは在

来線も多数の乗客で大混雑でした。(写真)

安定経営のためには、このような時だけでなく、日常的に電車を利用する市民が増える事が望めます。

さて、開業はしたものの、残されている課題は少なくありません。速達型の新幹線特急が停車しない問題、在来線が県境で分離されている問題、直江津駅での乗り継ぎによる運賃の大幅な引き上げの問題、十分な除雪体制が確保されるかどうかという懸念などは、これからが解決に向けての正念場になります。



↑上越妙高駅在来線ホームの混雑の様子(同)  
→妙高はねうまラインの車内の様子(14日午後)



陳述するはしづめ団長

ガス水道局本支管工事をめぐる談合疑惑を解明しようと、日本共産党市議会議員団をはじめとした12人の市民が行った監査請求で、14日、請求人の陳述が行われました。

陳述は、請求人から監査委員に対して、請求の主旨や内容に関して詳しく述べるものです。この日は、請求人代理人の齋藤弁護士に続いて、元入札監視委員の鷲澤和彦氏、党議員団のはしづめ団長が陳述を行い、それぞれの立場で請求の

## 談合疑惑監査請求で請求人が陳述

# 疑うべき証拠を基に 専門家の立場で判断を

趣旨を訴えました。

齋藤弁護士は、監査委員が専門的知見を有している人の中から選ばれていることを指摘し、「完全に談合が行われたという証拠がなければ認定しないというのであれば、専門家は必要ではない。専門家の立場で、疑わしいという証拠を含めて適切に判断してほしい」と強調しました。

鷲澤氏は、この間の入札状況を丹念に調べた結果を基に、「談合を通報した事業者の主張の通りであることは、この間の入札の結果からも明らかだ」と指摘しました。

はしづめ団長は、「当局も関わっている官製談合ではないかという指摘もある。そのことも含めて厳正に監査してほしい」と述べました。

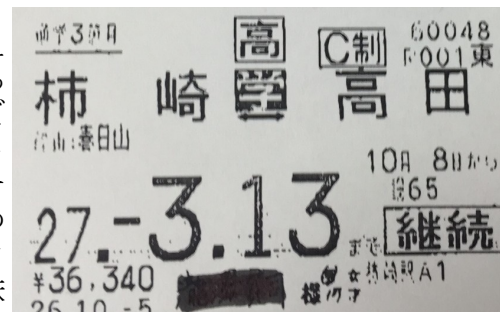
陳述のあと、監査委員から請求人に対して、請求の事実関係などに関する質問があるとされていきました。しかし、請求人の陳述が終わったあと、監査委員は別室で協議した結果であるとして、「特に質問事項はない」と述べ、1時間弱で終了しました。

なお、この日の陳述の前に、代理人弁護士と監査委員事務局との間では細かいデータの確認などが行われてきたとのこととです。監査の結果がどのようなのか、注意深く見守っていく必要があります。

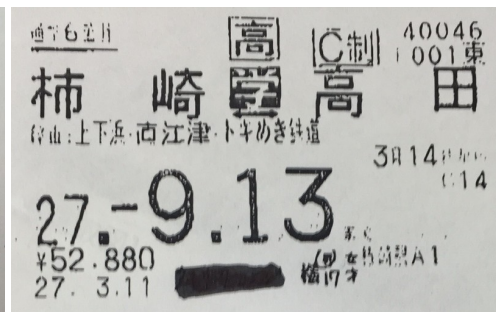
## 乗継ぎによる初乗り運賃発生で高校生に大打撃

えちごトキめき鉄道は、開業にあたり5年間はJR並の運賃を維持するとしていました。しかし、直江津駅などでの他社路線への乗り継ぎでは、互いに初乗り運賃が発生するため、実質的に値上げになります。

高校生は、直江津で乗り継ぐ生徒が多く、たくさんのお客様が受けることとなります。すでに発売された定期券を見ると、たいへんな幅幅になっています。写真はある生徒の実例の例ですが、値上げ幅は実に45%。まさに大打撃です。



柿崎～高田のこれまでの半年間の通学定期券。値段は36,340円



同区間のこれからの半年間の通学定期券。なんと52,880円に！

## 日本共産党上越市議員団ニュース

No. 4 4 7 2015年3月22日

連絡先

橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

市は、こうした生徒への支援を本気で考えるべきです。